

2018 年 J E A S 第 14 回技術交流会 展示発表

No.	展示会社・団体	展示内容
4	<p>公益財団法人日本自然保護協会 「市民参加の「人と自然とのふれあい調査」 ～(公財)日本自然保護協会の取り組みより～」</p>	<p>(公財)日本自然保護協会は 1996 年のアセス法施行に合わせた検討会の実施より「ふれあい調査」に関する研究を行ってきた。</p> <p>「人と自然のふれあい調査」は、地域の人にとってかけがえのない自然、地域の人たちが大切に思う場所、持続可能な自然利用の方法、自然とかかわりながら成り立ってきた暮らし方、地域の人たちが取り組んでいる自然をまもる活動などを明らかにして、その調査結果を自然保護、生物多様性の保全、持続可能な地域づくりに活用することを目的としている。</p> <p>その調査結果を集約し、マップや冊子を作り地域戦略に活かすところまで実現している実例や「ふれあい調査」についてまとめた書籍や、さまざまな「人と自然のふれあい調査」の形をご紹介します。</p> <p>環境影響評価、「人と自然との触れ合いの活動の場」項目に関する調査にお役立ていただきたいと考える。</p>

展示風景



人と自然のふれあい調査 宮崎県綾町を事例に

道家哲平（（公財）日本自然保護協会）

ふれあい調査？

みんなで集まって話し合う



文化や伝統を歩いて調べる・感じる



古い地図・航空写真から発見する



食べ物や自然を調べる・食べる・感じる

人と自然のふれあい調査は地域に暮らす人と一緒に、ありふれているけどかけがいのない自然、大切な場所、それを使う知恵を掘り起こし、それらを利用して、地域の自然を守り、地域づくりをしていくための調査です。地域における人と自然の関りをポジティブに価値化・可視化する手法として可能性があります。



←ふれあい調査の方法がわかる！
「人と自然のふれあい調査ハンドブック」
机に実物あります。お手にとってご覧ください。

上畑地区ふれあい調査：完成！ & ふれあいツアー



古屋地区ふれあい調査